

美しい温泉地、優しい温泉地を目指しています。

88

くろかわおんせん

黒川温泉

(熊本県南小国町)

注目ポイント！

旅館経営者全員が一体となった観光振興。
観光客自身が好きな温泉を自由に入湯できるシステムの構築。



入り込み客数が約80万人から約100万人に！
(平成6年) (平成16年)



雨に煙る黒川温泉郷

コラム

黒川温泉観光旅館協同組合が中心となり、黒川温泉の名物となる入湯手形を作り上げた。入湯手形により、観光客は、黒川温泉郷24軒の中から3箇所露天風呂を自由に選び入浴することができる。また、組合は植樹活動等による周辺環境保全等にも積極的に取り組んでいる。



黒川温泉
観光旅館協同組合
代表理事
後藤 健吾氏

これまでの経緯

- 昭和61年(1986) 「入湯手形」の発行を始める。
組合の組織再編を経て、初めての広告を生活情報誌に掲載する。
- 昭和62年(1987) 黒川温泉地の共同看板を設置する。
- 平成5年(1993) 周辺環境を配慮した「よもぎ石鹸」を導入する。
- 平成10年(1998) 「露天風呂の日」を開始する。毎年6月26日は加盟旅館の温泉が無料開放される。
- 平成18年(2006) 「入湯手形」が20周年を迎える。

主な取り組み

様々なお風呂を満喫できる「入湯手形」

黒川温泉では、旅館一つ一つが旅館のお部屋を意味し、通りの一本一本が各々のお部屋を結ぶ廊下と考える「黒川温泉一(いち)旅館」の理念のもと、24軒の旅館の露天風呂に入湯できる『入湯手形』を発行しており、今年で20周年を迎えた。この手形づくりは地域の老人会に依頼する等、地域との密接な関係構築にも貢献している。



入湯手形



植樹の様子

自然を守る努力

春と秋に植樹活動を実施し、「心が癒される豊かな自然」を守るよう努力しており、特に秋の植樹には、一般客も招待している。

また、自然に優しい「よもぎ石鹸」を利用し、日頃から周辺環境の保全に配慮した取り組みを進めている。

「おもてなしの心」向上の推進

黒川温泉観光旅館協同組合が中心となって、黒川温泉全体の発展のため、経営者や女将向けのセミナー、幹部候補者に対するリーダー研修等様々なセミナー・研修を実施。



セミナーの様子

ITの活用

インターネットを活用した情報共有にも取り組んでいる。イントラネットを活用し、組合相互には、半年先までの宿泊予約状況を確認できるようにするなど、情報を共有。



黒川温泉観光旅館協同組合

問い合わせ先

黒川温泉観光旅館協同組合

Tel : 0967 - 44 - 0076

<http://www.kurokawaonsen.or.jp>